

## 【教育委員会議事録】令和2年7月定例会

開催日時	令和2年7月30日（木） 9：30～12：00
開催場所	下関市教育センター 3階中研修室
出席委員の氏名	児玉 典彦（教育長） 小田 耕一（教育長職務代理者） 藤井 悦子 吉村 邦彦 佐々木 猛
欠席委員の氏名	欠席なし
委員及び傍聴人を除くほか議場に出席した者の氏名	<p>           教育部長 徳王丸 俊昭            教育部次長 藤田 信夫            教育部次長 中川 浩二            教育部次長 大田 一夫            教育政策課長 岡本 誠也            学校教育課長 岡田 達生            教育指導監（生徒指導推進室長） 川畑 誠治            教育研修課長 岡 良治            学校支援課長 浅野 秀晃            学校保健給食課長 山本 匡章            生涯学習課長 和田 英一            文化財保護課長 濱崎 真二            中央図書館長 八角 誠            美術館副館長 岡本 正康            歴史博物館長 古城 春樹            土井ヶ浜遺跡・人類学ミュージアム館長 松下 孝幸            下関商業高等学校事務長 富田 智雄            教育部参事（菊川教育支所長） 山本 洋美            豊田教育支所長 高野 修一            豊浦教育支所長 日吉 克浩            豊北教育支所長 西村 敬教            教育政策課長補佐 内田 泰敬            教育政策課主査 倉前 啓介            教育政策課主任 田巻 美紗         </p>
傍聴人の数	傍聴人なし

次第（目次）

【開会の宣告】	……………	P 3
【署名委員の指名】	……………	P 3
【教育長報告】	……………	P 3
【議案審議】		
第42号 下関市教育委員会事務分掌規則の一部を改正する規則	……………	P 5
第43号 教育委員会の権限に属する事務の管理及び 執行の状況に関する点検評価報告書について	……………	P 1 1
第44号 教育功労者表彰（篤行表彰）について	……………	P 6
第45号 令和3年度使用下関市立中学校教科用図書の採択について	……………	P 1 1
【臨時代理の報告】		
令和2年度教育予算の補正（7月）について	……………	P 7
令和2年度小学校教職員の人事異動について	……………	P 1 1
【報告事項】		
下関市立学校適正規模・適正配置事業の進捗状況について （下関市立名陵中学校・名池小学校・王江小学校）	……………	P 1 1
令和2年度下関市学校運営協議会委員の委嘱又は任命について	……………	P 8
学校給食施設再編整備について	……………	P 9
発掘速報展「掘ったほ！下関2020」の開催について	……………	P 1 0
【その他】	……………	P 1 1
【閉会の宣告】	……………	P 3 1

**【開会の宣告】**

児玉典彦（教育長）

おはようございます。ただいまより教育委員会7月定例会を開催いたします。

**【署名委員の指名】**

児玉典彦（教育長）

本日の議事録の署名は小田委員、佐々木委員をお願いいたします。

本日の日程は、日程1の議案が4件、日程2の臨時代理の報告が2件、日程3の報告事項が4件、日程4その他となっています。この日程に関連して、最初に委員の皆さんにお諮りします。

「議案第43号 教育委員会の権限に属する事務の管理及び執行の状況に関する点検評価報告書について」、「議案第45号 令和3年度使用下関市立中学校教科用図書の採択について」、「臨時代理の報告 令和2年度小学校教職員の人事異動について」及び「報告事項 下関市立学校適正規模・適正配置事業の進捗状況について」は、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第14条第7項ただし書の規定により、会議を公開しないことといたしたいと存じますが、委員の皆様、よろしいでしょうか。

（はい）

児玉典彦（教育長）

それでは非公開とし、議事録について、当面の間、非公開といたしたいと存じますが、委員の皆様よろしいでしょうか。

（はい）

児玉典彦（教育長）

また非公開とすることといたしました議案、報告事項は、日程4その他が終わった後に審議を行うことといたしたいと存じますが、これもよろしいでしょうか。

（はい）

児玉典彦（教育長）

それでは、そのように進めてまいります。

**【教育長報告】**

児玉典彦（教育長）

最初に教育長報告を行います。資料を出してもらえたらと思います。まず、6月25日ですが、13時教育センターにおいてタイガーフックプロジェクトによる「ぶっちゃけの〜と」の贈呈式がありました。この『「ぶっちゃけの〜と」タイガーフックプロジェクトこのゆびと〜ま〜れ』は、吉村委員も関わっている企画ですが、何を書いてもいい、ぶっちゃけていい、色んなこと悩みや不満、そういうことも書いていいよというノートです。これは、小学4年生から中学1年生の市内の子供たちに配られるという大変ありがたい取組です。何か付け加えありますか、吉村委員。

吉村邦彦（教育委員）

はい。皆さん、ご協力ありがとうございます。少しでも子供たちが悩んだ時や苦しんでいる時に、SOSで、これは子供たちも書いて心が和むっていうのもあるんですけど、ぜひ大人たちがそれを発見できればもっといいなというふうに思っていますし、後ろのページには電話で相談で

きる窓口とかも入れてあります。そういうのもぜひ色々と今から啓蒙活動もしていきたいと思いますので、皆さん今後ともご協力よろしくお願いします。ありがとうございます。

児玉典彦（教育長）

はい。ありがとうございました。

続いて、7月2日下関市特別支援教育推進委員会があり、下関市の特別支援教育の充実に向けて、貴重なご意見をたくさんいただきましたので、これからは生かしていきたいと思います。

3日には、公立園長会があって、少しだけお話をさせてもらいました。小学校の校長会も中学校の校長会もお話を一生懸命聞いてくれますが、この公立園長会の園長先生たちの凄まじい目つきや、メモを取る勢いにいつも圧倒されています。本当に就学前の幼児教育に関わる重要性というか必要性を強く感じているんだろうなと思って、身が引き締まるような思いでした。

7月6日に第2回適正規模・適正配置検討委員会が、コロナの関係で、第1回から間があいてしまいましたが、この日に再開しました。これ以降2週間おきくらいにこの委員会がありますが、今週、第5回でこの委員会が終わって、第3期の適正規模・適正配置の計画を策定したいと思っています。

7月8日は木屋川中学校で道徳の校内研修会がありましたので、講師として参加をしてきました。授業をした先生は、30歳の男性。道徳の授業がうまくいかずにもがいていた姿を見て、ちょうど私が30歳の頃、もがいていたことを思い出して、一生懸命やって欲しいなと心から思ったところです。

13日(月)名陵中学校区から市長への要望書が提出されました。名陵中、王江小、名池小、3つの学校が統合して新しい学校を作りたいという内容の要望書が地区から出ましたので、これからこの3つの小・中学校の統合が進むと思います。

14日には図書贈呈式と書いておりますが、これは市内の中学校で病気によって突然亡くなった子供の保護者が、その学校に図書を贈呈したいということで、たくさんの本と書架を贈呈くださいました。その受取りの式がこの日にありました。

17日、ボランティアさんへのご挨拶ですが、これは下関市立歴史博物館のすぐ上にあります、旧下関市立長府博物館の草刈りを市役所のOBの方がされるとということで、徳王丸部長と一緒に、お礼のご挨拶に行ってきました。幸か不幸かとても天気が良くて、暑い中、古城館長も一緒になって草刈りをしていたので、本当にありがたいことだなと思いました。

7月20日、市議会7月臨時会本会議が3日間の予定で始まりました。教育委員会からは、補正予算のコロナ対応、感染症対策ということで、いろんな予算を要求して、これについては、ほぼ認められました。

7月28日、「ネットの安全ガイドBOOK」贈呈式が教育センターでありました。これは、日本公衆電話会から毎年、中学1年生に贈呈してもらっています。3年前から始まりましたので、今は下関市内の中学生は全員1冊持っているという状況になりました。親子で勉強して欲しいなと思います。

28日午後から人類学ミュージアムの運営協議会がありました。人類学ミュージアムでは、資金、人、両方ともが足りない中で、苦しい運営を強いられているという状況で、何とかしたいなと、この施設を生かすことができるという思いながら協議会に参加してきました。

29日には、夏季山口県都市教育長会議がオンライン会議でありました。県内の教育長さんが参加して、活発な議論をしてとはなかなかいいかなと思います。発言は1人ずつなので難しいですが、コロナによって臨時休業日が3か月近くあった、新年度になっても2か月あった、そういう中で、これから学習内容の習得をどうやって進めるのか、あるいはICT機器の導入をどうするかでうまく導入していくのか、といったことについて、価値観が近いと感じる協議が続きました。

今月の教育長報告は以上です。今の報告で、何かご質問はありますか。

(ありません)

児玉典彦（教育長）

ないようでしたら、日程1の議案審議に入ります。

**【議案審議】**

**議案第42号 下関市教育委員会事務分掌規則の一部を改正する規則**

児玉典彦（教育長）

議案第42号 下関市教育委員会事務分掌規則の一部を改正する規則について、教育政策課、岡本課長お願いします。

岡本誠也（教育政策課長）

教育政策課です。それでは、「議案第42号 下関市教育委員会事務分掌規則の一部を改正する規則」についてご説明いたします。資料は2ページ、3ページとなります。

この規則は、教育委員会の権限に属する事務を処理するための必要な組織を定めたものでございます。令和2年度に指定管理者を再指定する施設として、下関市芝学習等供用会館及び下関市串学習等供用会館がございまして、

下関市公の施設における指定管理者の指定手続等に関する条例第5条の規定により、指定管理者の選定については、特別の場合を除き、下関市指定管理候補者選定委員会を設置し、審議することとなっております。当該選定委員会は教育委員会の諮問に応じて審議する機関であることから、附属機関として位置づけられることとなります。

このたびの改正は、指定管理者の選定のために、教育委員会の附属機関として、下関市指定管理候補者選定委員会を設置することに伴い、下関市教育委員会事務分掌規則の第38条を改正しようとするものでございます。

指定管理については、一般的には5年の指定期間となっており、指定管理者の選定が終了すれば、当分の間は当該委員会が開催されることはありません。他の附属機関のように年に数回開催し、意見をいただくというものとは異なることから、第38条において、他の附属機関の規定とは切り離して、第3号として規定しているものでございます。

3ページの新旧対照表をご覧ください。第38条の第3号において、「下関市指定管理候補者選定委員会（生涯学習関係施設）」の、担任する事務及び庶務を処理する組織を規定しております。この規則の施行日は、公布日としております。よろしくご審議をお願いいたします。

児玉典彦（教育長）

では、ご質問、ご意見があればどうぞ。

（ありません）

児玉典彦（教育長）

よろしいですか。ないようですので、議案第42号について、承認としてよろしいですか。

（はい）

児玉典彦（教育長）

それでは承認といたします。

【議案審議】

議案第44号 教育功労者表彰（篤行表彰）について

児玉典彦（教育長）

次に、議案第44号「教育功労者表彰（篤行表彰）について」、教育政策課、岡本課長。

岡本誠也（教育政策課長）

はい、教育政策課です。よろしくお願ひします。

議案第44号 教育功労者表彰（篤行表彰）について、ご説明をいたします。

資料の4ページをお願いいたします。本件は、下関市教育委員会表彰規則第7条の規定に基づき、教育功労者を決定しようとするものでございます。

この度は、規則第5条第4号により学校支援課長から内申があった後、規則第6条に基づき6月24日に開催された選考委員会において候補者として選考され、本日議案として提出するものでございます。

内容は、下関市の子ども達に緊急にマスクを贈る会 代表 梶山由紀江様より、154万円相当のマスクの寄附があったものでございます。

説明は以上です。ご審議の程、よろしくお願ひいたします。

児玉典彦（教育長）

ありがとうございました。では、ご質問、ご意見があればどうぞ。はい、吉村委員。

吉村邦彦（教育委員）

この表彰に関しましては、特に異論はございません。一つ、この154万円相当のマスクというとかなりの量になると思いますけれど、これは今後どのように活用されるのか、それをいつのタイミングでも結構ですので、ご説明いただければと思います。

児玉典彦（教育長）

この説明できますか。はい、学校保健給食課長。

山本匡章（学校保健給食課長）

マスクは約2万枚いただきまして、うち500枚をこども未来部、保育園、幼稚園の方へ送り、残りを各学校へ配付しました。用途については特に決めておりませんが、学校の方で判断してもらうようにしております。

吉村邦彦（教育委員）

はい。ありがとうございます。

児玉典彦（教育長）

子供に1人1枚のマスクを配って学校で活用したようです。他にはないですか。

児玉典彦（教育長）

ご意見がないようですので、議案第44号について、承認としてよろしいですか。

（はい）

児玉典彦（教育長）

それでは、承認といたします。

【臨時代理の報告】

令和2年度教育予算の補正（7月）について

児玉典彦（教育長）

続いて、日程2の臨時代理の報告にまいります。

「令和2年度教育予算の補正（7月）について」、徳王丸部長、お願いします。

徳王丸俊昭（教育部長）

はい、それでは、臨時代理の報告「令和2年度教育予算の補正（7月）」につきまして、ご報告いたします。

資料の5ページをお願いいたします。

令和2年度教育予算の補正（7月）につきましては、7月市議会臨時会への上程手続きを進める上で、教育委員会の議決を事前にいただくことが困難であったため、下関市教育長に対する事務委任規則第4条第1項の規定により、臨時に代理し、同条第2項の規定により報告をするものでございます。

資料の7ページをお願いいたします。

第10款 教育費は、5億7,576万7千円を増額補正するものでございますが、そのうち5億6,936万7千円が教育委員会の所管でございます。

内容について、ご説明いたします。資料の8ページをお願いいたします。

「学校再開に伴う感染症対策・学習保障事業」でございます。

学校再開に際して、市立の小中学校及び高等学校が感染症対策を徹底しながら児童生徒の学習保障をするため、感染症対策に必要となる保健衛生用品の配備や家庭における効果的な学習のために用いる教材等を整備するものでございます。予算内容としましては、学校における感染症対策や児童生徒の学びの保障に対応するために必要な消耗品購入等に要する経費6,850万円を増額するものでございます。

なお、この整備事業に要する経費には、学校保健特別対策事業費補助金を1/2、新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金を1/2と、全額、国庫補助金を充当することとなっております。

続いて、9ページをお願いいたします。

「GIGAスクール構想推進事業」は、児童生徒1人1台端末の早期実現を図るため、端末及び大型提示装置等の整備を行うものでございます。

予算内容としましては、当初予算及び6月補正予算では、小学4年生から中学3年生までの6学年分の端末整備等を行うこととしておりましたが、令和3年度以降に整備予定であった小学1年生から3年生の3学年分の端末及び大型提示装置等の整備を前倒しいたしまして、令和2年度で児童生徒1人1台端末を実施するものでございます。総額4億1,695万3千円を増額するものでございます。

なお、この事業に要する経費には、全額、新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金を充当することとしております。

続いて、10ページをお願いいたします。

「GIGAスクール構想の加速による学びの保障」の早期実現を図るため、下関商業高等学校においても、1人1台端末、大型提示装置等の整備を行うものでございます。

予算内容としましては、全生徒及び指導者用端末、大型提示装置及び電源キャビネットの整備に係る経費、6,673万4千円を増額するものでございます。

なお、この整備事業に要する経費には、全額、新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金を充当することとしております。

続いて、11ページをお願いいたします。

学校給食事業者支援事業でございます。学校の臨時休業により、3月に学校給食が中止となったことで経営に甚大な影響を受けた下関市内の学校に納入している学校給食用パン・米飯と牛乳の製造販売業者に対して、国庫補助制度を活用し事業継続のための支援を行うものでございます。

予算内容としましては、市内の学校に納入している学校給食用パン・米飯と牛乳の製造販売業者に対して交付する3月の臨時休業期間のパン・米飯と牛乳の加工賃相当額に係る給付金に要する経費として、1,250万円を増額するものでございます。

なお、この事業に要する経費には、学校臨時休業対策費補助金を3/4、新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金を1/4と、全額、国庫補助金を充当することとしております。

続いて、12ページをお願いいたします。

公共施設に係る新型コロナ感染症対策事業は、新型コロナウイルス感染症の感染及び感染拡大のリスクを可能な限り低減するため、多数の来館が見込まれる図書館、美術館、博物館等の施設において、AIサーマルカメラ等の整備を行うものでございます。

予算内容としましては、これらの備品購入に要する経費として総額468万円を増額するものでございます。

事業に要する経費には、文化芸術振興費補助金を45万円、新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金423万円を充当することとしております。

以上、臨時代理の報告「令和2年度教育予算の補正(7月)」にかかる教育委員会所管分についてご説明をいたしました。よろしくをお願いいたします。

児玉典彦(教育長)

はい、ありがとうございました。驚くような金額の予算について説明がありましたが、委員の皆様、何かございますか。はい、吉村委員。

吉村邦彦(教育委員)

はい、ありがとうございます。今回、新型コロナウイルスという非常に厄介な病気ですが、逆にGIGAスクール構想が非常に早く進むということに加えて、子供たちに本当に早くタブレットを使った授業を受けさせたいですし、先生方も今から模索していかなければならないと思いますけれども、ここは下関の子供たち、それから先生方も含めて、他所より早く色んな事が進めばいいなと思っております。以上です。

児玉典彦(教育長)

はい、他はよろしいですか。

(はい)

児玉典彦(教育長)

はい、それでは本件について「報告済み」といたします。

(はい)

#### 【報告事項】

令和2年度下関市学校運営協議会委員の委嘱又は任命について

児玉典彦(教育長)

続きまして、日程3「報告事項」に入ります。まず、「令和2年度下関市学校運営協議会委員の委嘱又は任命について」、教育研修課、岡課長、お願いします。

岡良治(教育研修課長)

教育研修課です。よろしくをお願いいたします。

下関市学校運営協議会委員の委嘱又は任命について報告いたします。

資料の13ページからお願いいたします。



地方教育行政の組織及び運営に関する法律第47条の5第2項及び下関市学校運営協議会規則第4条の規定により、下関市学校運営協議会委員を次のとおり委嘱又は任命しました。各学校の定数は15名以内、任期は委嘱又は任命の日から令和3年3月31日までとなっております。委員は、当該対象校の通学区域内の住民、当該対象校に在籍する児童又は生徒の保護者、対象校の運営に資する活動を行う者、当該対象校の校長、当該対象校の教職員、学識経験者、前各号に掲げる者のほか教育委員会が必要と認める者の中から小学校44校で619名、中学校22校で311名、下関商業高等学校が15名。計945名を委嘱又は任命いたしました。委員につきましては、下関市学校運営協議会委員名簿に掲載しておりますので、ご確認ください。説明は以上でございます。

児玉典彦（教育長）

はい、では、ご質問、ご意見があればどうぞ。

（ありません）

児玉典彦（教育長）

よろしいですか。ないようですので、本件について報告済みといたします。

**【報告事項】**

学校給食施設再編整備について

児玉典彦（教育長）

続いて「学校給食施設再編整備について」学校保健給食課、山本課長お願いします。

山本匡章（学校保健給食課長）

資料20ページをご覧ください。「学校給食施設再編整備について」ご説明します。「1. 新学校給食調理場整備予定地における既存建物等物件の概要」についてですが、現在、新しい学校給食調理場を新下関市場内に整備する計画を進めております。新下関市場内の整備予定地の一部に、現在、市場関連事業者が保有する建物等があり、これらを撤去する必要があります。

建物等は次のページに示しております。これらの建物を4事業者が保有しております。

20ページに戻ってください。

「2. 既存建物等への対応」についてですが、事業者の事業継続に過大な負担を掛けずに撤去・移転を進めるため、建物等の撤去・処分に係る費用相当額を補償費として支出するものです。

「3. 補償費」ですが、4事業者に支払う補償額は、総額2,500万円の見込みです。

「4. 今後の予定」ですが、現在、対象の4事業者と撤去に係る契約を始めております。

8月から12月までの間を撤去期間として、建物の撤去を確認してから補償費を支払います。

以上、ご報告いたします。

児玉典彦（教育長）

はい、ありがとうございました。今、再編整備について報告がありましたが、ご質問、ご意見があればどうぞ。

（ありません）

児玉典彦（教育長）

よろしいですか。ないようですので、本件について報告済みといたします。

【報告事項】

発掘速報展「掘ったほ！下関2020」の開催について

児玉典彦（教育長）

次に「発掘速報展「掘ったほ！下関2020」の開催について」文化財保護課、濱崎課長お願いします。

濱崎真二（文化財保護課長）

文化財保護課でございます。

下関市立考古博物館発掘速報展の開催について、ご報告いたします。

資料は22ページをご覧ください。また、席上にカラー刷りのチラシを配付させていただいておりますので、こちらの方もご参照ください。

令和2年度発掘速報展『掘ったほ！下関2020』は、下関市の最新の埋蔵文化財調査情報をいち早く市民の皆様にお届けするための展覧会でございます。

第18回目となります今回は、令和元年度に調査を実施いたしました遺跡の中から、川中地区の有富中尾遺跡、綾羅木郷台地遺跡（中屋敷地区）、勝山地区の金子遺跡、長府地区の侍町遺跡、長門国分寺跡の5遺跡を取り上げ、各遺跡の調査成果についてご紹介するものでございます。

このうち、有富中尾遺跡と侍町遺跡につきましては昨年度の調査により、新たに発見された遺跡で、特に有富中尾遺跡につきましては、大規模な本発掘調査を実施し、弥生時代から古墳時代の14基の竪穴式住居群やガラスや木製の数珠玉を共伴するものを含む、54基の中世墓を確認いたしました。これらの出土品を含め、調査成果をご紹介するものでございます。

会期は、令和2年8月8日（土）から令和2年9月27日（火）までの期間でございまして、この期間の月曜日は休館とさせていただく予定でございます。

会場は、下関市立考古博物館、特別企画展示室でございます。以上、報告を終わります。

児玉典彦（教育長）

はい、ありがとうございます。ただ今の報告について、ご質問、ご意見がありますか。はい、吉村委員。

吉村邦彦（教育委員）

間違っていたら申し訳ありません。たぶん考古博物館だと思うのですが、市報に載っていました。その時に頭がい骨の絵が挿絵で書かれていました。市報を見ていると教育委員会関係でも美術館など色々な施設のスケジュールや行事が載っていましたが、その挿絵一つで、ものすごい目がいくので、ぜひそういうのを参考にさせていただきたいと思います。市民の皆さんがもっと教育委員会の関係施設等に興味を持っていただいたり、目がいたりするためにも、文字だけが枠の中に入っているのに加えて、ぜひそういった工夫をしていただけたらいいなというふうに思いました。以上です。

児玉典彦（教育長）

はい、今のアナウンスについて、広報活動について一工夫するよというご意見ですが、よろしいでしょうか。よろしく申し上げます。他の委員さん、どうですか。

（いいと思います）

児玉典彦（教育長）

では、ぜひ委員の皆さんも行って、勉強してください。

（はい）

児玉典彦（教育長）

それでは、この件については、報告済みといたします。

**【その他】**

児玉典彦（教育長）

では、日程4「その他」ですが、なにかございますか。

（ありません）

なければ、次回の日程ですが、8月の教育委員会定例会は、8月25日（火）午前9時30分、下関市教育センター3階中研修室にて開催の予定です。委員の皆様よろしいでしょうか。

（はい）

児玉典彦（教育長）

よろしく申し上げます。

《非公開部分始まり》

**【議案審議】**

議案第43号 教育委員会の権限に属する事務の管理及び執行の状況に関する点検評価報告書について

下関市教育委員会会議規則第17条ただし書の規定により、非公開

**【報告事項】**

令和2年度小学校教職員の人事異動について

下関市教育委員会会議規則第17条ただし書の規定により、非公開

**【報告事項】**

下関市立学校適正規模・適正配置事業の進捗状況について  
（下関市立名陵中学校・名池小学校・王江小学校）

下関市教育委員会会議規則第17条ただし書の規定により、非公開

**【議案審議】**

議案第45号 令和3年度使用下関市立中学校教科用図書の採択について

児玉典彦（教育長）

それでは、議案第45号に入ります。議案第45号「令和3年度使用下関市立中学校教科用図書の採択について」を教育研修課、岡課長お願いします。

岡良治（教育研修課長）

教育研修課でございます。議案第45号は、下関市立中学校教科用図書研究調査協議会の研究調査報告を受け、令和3年度使用の下関市立中学校教科用図書を採択していただくものです。

なお、6月1日から7月29日まで行われた教科書展示会でいただいたご意見等は、委員の皆様のお手元に配付しておりますので、参考にしていただくようお願いいたします。

それでは、ご審議のほど、よろしく願いいたします。

児玉典彦（教育長）

本日のこの会では、下関市の中学生が来年度から使用する教科用図書の採択を行います。委員の皆さんには、公正かつ適正な教科書採択に御配意、御協力いただきますようお願いいたします。

本日の会は、非公開としておりますが、議事録等については、9月1日以降に公開することとなりますので、ご承知おきください。

なお、今からの審議は、国語に始まって道徳まで一挙にいきたいと思います。途中、休憩がないかもしれませんが、皆さんよろしくお願ひします。

さて、審議に入る前に確認をしたいと思います。種目ごとに採択する教科書を決めるにあたり、合議制あるいは採決の方法がありますが、どのように行いましょうか。はい、小田委員。

小田耕一（教育長職務代理者）

合議制で審議を進めることを基本としながら、どうしても決まらない場合のみ採決をとるということで、いかがでしょうか。

（賛成です）

児玉典彦（教育長）

はい、ありがとうございます。では、合議制で全員一致を基本としながら、必要に応じて採決をとるということで、審議を進めていきたいと思います。

それでは、各教科・種目の教科書の採択について協議いたします。

先日の研究調査協議会における協議内容については、協議会の場で確認されたことと思います。また、委員の皆様には、各自で教科書の研究調査を重ねてこられていることと思います。

それでは、これまでの研究調査を踏まえ、まず、国語において、下関市の子供たちにとって、もっともふさわしい教科用図書はどれだと思われませんか。その理由を併せてご発言いただきたいと思ひます。はい、吉村委員。

吉村邦彦（教育委員）

私は教科書をすべて読ませていただきましたが、調査員の先生方からも、非常に優れているというふうな報告を受けたことに加えて、私自身も光村図書の教科書が最もふさわしいと思ひました。

理由は、報告にも書いてありましたが、新設された情報の集め方に関する事項と、それから3領域の学習に関連させた情報の扱い方、こういったことに関して知識及び技能を活用できるように教材配列が非常に工夫されているというふうに思ひます。まさに、私も非常にバランスの良い教科書になっていると思ひまして、光村図書が最もふさわしい教科書だと思ひます。以上です。

児玉典彦（教育長）

吉村委員から光村図書ではどうかという提案がありましたが、他の教科書会社を推す委員さんはいませんか。はい、藤井委員。

藤井悦子（教育委員）

はい、私は東京書籍を選ばせていただきました。理由といたしましては、「学びのとびら」でイラストやキャラクターの会話を使ってわかりやすく説明されていることや、また、振り返りで学習内容を自分の言葉でまとめたり、自分の生活に戻したりする内容になっていて、生徒の人間性に添って工夫がされている点がとても良いと思ひ、国語の教科書としては、こちらが優れていると思ひました。

児玉典彦（教育長）

はい、ありがとうございます。ただ今、光村図書と東京書籍についてのご意見が出されまし

たが、この2社に絞って、協議を行いたいと思いますが、いかがでしょうか。

(はい)

児玉典彦（教育長）

それでは、佐々木委員、いかがですか。

佐々木猛（教育委員）

光村図書と東京書籍、私もその2社で悩んだのですが、私はその中で光村図書が良いなと思っています。一つは、平家物語の文章を比較してみていたのですが、まず、古文としての文章と現代語訳と古文の説明と3段階でしっかり構成されていて、内容の理解が捉えやすかったという点で良いのかというふうに思いました。東京書籍の方も、全体の流れが一番よくわかりまして、また歴史背景等、全体の流れが想像できそうな雰囲気作りであったのが良いのかと思ったのですが、やっぱり1番が光村図書で、2番目が東京書籍でした。

児玉典彦（教育長）

はい、ありがとうございます。今、光村図書が良いが、2番目に東京書籍という意見ですが、小田委員、どうですか。

小田耕一（教育長職務代理者）

私はどの教科書についても、ページを開いたときの見やすさを大事にして見ていますが、見やすさという点については、光村図書が良いのかなというふうに思います。

それから、調査員の先生方の報告にありましたけれど、文学作品も多く扱っていますし、加えて本の紹介のページも、光村図書はさまざまなジャンルに渡って、いっぱい作品が紹介されているなと思いました。

児玉典彦（教育長）

はい、ありがとうございました。今、光村図書を推す意見が出ましたが、藤井委員、いかがですか。

藤井悦子（教育委員）

全部の教科書を一度に見たときに、東京書籍は、全体を通して優しい色使いをされていました。目に優しく、子供たちが教科書を開いたときにわくわくするのではないかなという感じがしたので、私は、東京書籍を推しました。しかし、内容としては、光村図書の方が、先生が教える立場からすれば良いかなと思います。

児玉典彦（教育長）

はい、ありがとうございました。では、国語については光村図書ということでよろしいでしょうか。

(はい)

児玉典彦（教育長）

では、国語は、光村図書に決定します。

それでは、これまでの研究調査を踏まえ、書写において、下関市の子供たちにとって、もっともふさわしい教科用図書はどれだと思われますか。その理由を併せてご発言いただきたいと思います。はい、小田委員。

小田耕一（教育長職務代理者）

私は光村図書が良いと思いました。その理由は、文字がすっきりしているということと、この

ページで何を教えたいかというねらいがはっきりわかりやすい点、それから紙面構成がくっきりとしていて、資料などの見え方が非常に鮮明である、とても見やすいと感じました。

書写の点では「見やすい」ということが大きな要素かなと考え、光村図書を推したいと思います。

児玉典彦（教育長）

はい、ただ今、小田委員から光村図書を推す意見が出ましたが、他の教科書会社を推す意見など、ございますか。はい、藤井委員。

藤井悦子（教育委員）

私も小田委員さんと一緒に光村図書が良いなと思いました。こちらが良いと思ったのは、やはり教材の文字が大きくてわかりやすいという点、書写ブックを利用することで繰り返し練習ができ、書く力を定着させるという点で、やはり光村図書の方が優れていると思いました。

児玉典彦（教育長）

はい、ありがとうございます。藤井委員からも光村図書を推す意見が出されましたが、他の意見はありませんか。

（ありません）

児玉典彦（教育長）

では、他の教科書会社を推す意見はありませんので、書写については光村図書ということでしょうか。

（はい）

児玉典彦（教育長）

では、書写は光村図書に決定します。

それでは、これまでの研究調査を踏まえ、地理において、下関市の子供たちにとって、もっともふさわしい教科用図書はどれだと思われますか。その理由を併せてご発言いただきたいと思います。はい、佐々木委員。

佐々木猛（教育委員）

それぞれ見させていただきました。私は、帝国書院が良いと思いました。理由は、写真が多く採用されていて、文字の太さにも工夫がありました。インパクトとして優しく入っていけるのではないかなと思います。併せて、「地域の在り方を考える」というところで、地域の取組の紹介がそれぞれあり、各地方の特色もわかりやすく紹介してあって、コミュニティ的なものも理解ができるのではないかということで、帝国書院が良いなと思いました。

児玉典彦（教育長）

はい、ただ今、佐々木委員から帝国書院を推す意見が出ましたが、他社を推す意見はございますか。はい、吉村委員。

吉村邦彦（教育委員）

私も帝国書院が良いと思いますが、東京書籍も少し迷っている次第です。内容的には双方とも非常にすばらしくて、わかりやすい色使いもされていますし、生徒たちも目で見てイメージしやすい内容になっていると思います。ここは帝国書院と東京書籍で協議したらいかがでしょうか。

児玉典彦（教育長）

はい、吉村委員から今、帝国書院と東京書籍で優劣を付けにくいということですが、この2社に絞って他の委員さんの意見を伺いたいと思います。はい、藤井委員。

藤井悦子（教育委員）

帝国書院と東京書籍を比べたときに、東京書籍は基礎・基本のまとめとして、振り返りという項目があります。帝国書院は、「学習を振り返ろう」・「学んだことを確かめよう」と学んだことを確実に理解するという点で、振り返るだけでなく確かめるというところがあります。こちらの方がより深く学べるのではないかと思って、私は帝国書院の方を薦めます。

児玉典彦（教育長）

はい、今、振り返るだけでなく確かめるところまでいけるので、帝国書院を推すという意見でした。小田委員、どうでしょう。

小田耕一（教育長職務代理者）

今、2社で協議しているところですけど、私はもう一つ日本文教出版が写真の点では、最近の写真を扱っているのではないかと感想をもちました。私の感想として、社会科の教科書はやはり新しい写真とか最近のものを見て学ぶということが大切だと思っています。古いものは削ぎ落としていいという訳ではないのですけれど、最近の写真を使われているのは大事かなと思いました。

ただ、教科書全体を見た場合は、やはりまとまりという点でも帝国書院が良いのではないかとこのように思います。

児玉典彦（教育長）

はい、今、小田委員から日本文教出版は写真が新しくきれいである。そこも魅力だと意見が出ました。でもそういった魅力があっても、やはり全体的に見て帝国書院を推すということですが、どうでしょうか。はい、吉村委員。

吉村邦彦（教育委員）

皆さんの色々な意見をお伺いして、帝国書院でよろしいと思います。

児玉典彦（教育長）

吉村委員から帝国書院で行きましょうということですので、地理は帝国書院ということで、委員の皆さんよろしいですか。

（はい）

児玉典彦（教育長）

それでは、地理は帝国書院に決定します。

次に、歴史です。歴史の教科書については、要望書が出ております。あるいは教科書展示会来会者からの意見も出ておりますので、これまでの研究調査及び要望書、教科書展示会来会者の意見を踏まえて、下関市の子供たちにとって、もっともふさわしい教科用図書はどれだと思われまつか。その理由を併せてご発言いただきたいと思います。はい、小田委員。

小田耕一（教育長職務代理者）

全体を見て、どの教科書も不足なく、いろいろな内容が入っているという点では、遜色ないかと思っています。どれをとっても良いと思いますけれども、東京書籍、教育出版、帝国書院、山川出版、日本文教出版、学び舎は同じような内容が書いてあるように思いました。ひとつ育鵬社だけ、少し突っ込んだ内容で書いてあるところがありますので、子供たちが教室内で議論をするという視点でみると、現代の論点がいろいろなところにあって、議論できるという点で、育鵬社の教科書は、魅力になるのかなというふうに思いました。

私は、帝国書院と育鵬社で、どちらがどういう魅力があるのか、協議ができたらいいなというように思います。

児玉典彦（教育長）

はい。今、議論する教材が多いのが育鵬社ではないかという意見だったと思います。今、小田委員から帝国書院、育鵬社、この2社で協議をという意見がありました。どうでしょう、この2社に絞って協議をしてよろしいですか。

（はい）

児玉典彦（教育長）

それでは、ご意見をお願いします。はい、吉村委員。

吉村邦彦（教育委員）

帝国書院、育鵬社ということで、帝国書院や東京書籍等は、今までの中学の歴史というものを踏襲してきたような形になっていますが、ずっと同じような形で流れているというようなことです。この育鵬社に関しては、私もちょっと気になったのですけれど、その時代時代を生きてきた人の目を通して歴史を考えるとという人物にクローズアップした部分、それから、我々の地域に根づいている人達、歴史を動かした人達の目を通して、この歴史がどう動いていったのかということに注目している構図というかストーリーになっています。生徒たちもそういった目線から歴史について考えると、もっと掘り下げて考えられるのではないかなという気がします。

今までとは全く違う、全くというのはおかしいのですけれど、きちんと教科書検定を通過しているわけですし、帝国書院、東京書籍よりも育鵬社の教科書で、子供たちにまた違った新しい教育、こういったものを受けさせてはどうかかなと思いました。

児玉典彦（教育長）

はい、ありがとうございます。ただ今の、その時代を生きてきた人の目というのは非常に大事な意見だと思います。

未来である現在から過去を批判するのは簡単ですが、その時代を生きてきた人々が、どう感じてきたのかをしっかりと学んで、どうしてそういう生き方を選んだのか、そういったことを考えることが、今からどうするかということに繋がるのだと思っています。これはとても大事なことだと感じました。ほか、いかがでしょうか。はい、藤井委員。

藤井悦子（教育委員）

育鵬社と帝国書院を比べてみましたが、育鵬社は人物に重みを置いているところが素晴らしいと思いました。一方、帝国書院は地域史や文化史、下関の話題を取り上げているという点で、良いなと思っており、正直、大変悩んでいるところです。

しかし、帝国書院は子供たちが見て楽しい「タイムトラベル」というイラスト付きのページがあり、視覚的にも楽しめる教材であると私は感じておりますので、私は帝国書院の方を推したいと思います。

児玉典彦（教育長）

はい、ありがとうございます。佐々木委員、いかがですか。

佐々木猛（教育委員）

私も帝国書院と育鵬社とは、遜色なく良いなと思っていました。帝国書院は、山口や下関ゆかりの人物の紹介があったり、視覚的な観点からも、題材がタイムトラベル等いろいろ紹介されていたり、熟議等においても、子供たちが第一歩として進みやすいのも帝国書院なのかなというように思います。



児玉典彦（教育長）

はい、2社どちらにも、良いところがあるようですが、どうでしょうか。はい、小田委員。

小田耕一（教育長職務代理者）

佐々木委員さんも触れられましたけれども、帝国書院と育鵬社が調査員の報告の中でも、地域に関する事柄について、一番たくさん扱われているということでした。そして、育鵬社の方が若干多いという報告がありました。

地域を通して学習していくという点では、2社に絞って検討することが大事だと思います。さらに言えば、授業の中で、議論を教室内で起こすということが非常に重要で、今求められている学力の中の一つだと思いますが、その議論が教室内だけでなく、より社会的に起こる可能性もあるのかなと思っています。

児玉典彦（教育長）

はい、ありがとうございました。ほかは。はい、吉村委員。

吉村邦彦（教育委員）

私も初めは帝国書院とも思ったのですけれども、やはり育鵬社の教科書を見たり、思い返したりする中で、現在、日本という国でいろいろなことが起こっていて、生徒たちに、歴史を通して、もっともっと深く未来を考えてもらう、未来創造型の教科書となっていると思います。例えば美意識ということに関しての言葉だとか、その歴史の時代に生きてきた人達の考えていたこと、思ったことや思いそのもの、そして未来に向けた希望とかを、先生方も生徒たちにタイムスリップさせて、未来を創造していく、それから、そういう時代に生きていくということが、生徒たち、それから先生方も非常に教えやすいのかなという気がします。

ですから、私は、育鵬社も非常に素晴らしいと思っています。

児玉典彦（教育長）

はい、ありがとうございました。いずれの教科書も遜色ないところですが、そういったことを「考える」「議論する」材料が多いというのは、育鵬社であるようです。

また、幕末から明治期にかけて、山口県もしくは下関市ゆかりの人物を取り上げているものがもっとも多いのも育鵬社の特徴です。

これらの点から、下関市の子供たちにとって、もっともふさわしい教科書は、育鵬社ということではよろしいでしょうか。

（はい）

児玉典彦（教育長）

それでは、歴史は育鵬社に決定します。

（はい）

児玉典彦（教育長）

それでは、これまでの研究調査を踏まえ、公民において、下関市の子供たちにとって、もっともふさわしい教科用図書はどれだと思われますか。その理由を併せてご発言いただきたいと思います。はい、佐々木委員。

佐々木猛（教育委員）

私は、東京書籍が文字だとか写真、イラストのレイアウト等が全て同じでわかりやすいと感じました。また、振り返り以外に、まとめの活動だとか、みんなでアクティブ・ラーニング、話し合いができる場所もあったので、東京書籍が良いのではないかと思います。

児玉典彦（教育長）

はい、ただ今、佐々木委員から東京書籍が良いのではないかという意見が出ましたが、いかがでしょうか。はい、藤井委員。

藤井悦子（教育委員）

私は、帝国書院を薦めます。理由は、読んだときに、帝国書院と育鵬社が、全体的に太くて見やすいという点がありました。また、帝国書院は見開きのイラストが、学習の前に必ずあって、子供たちが公民の勉強を始める前にわかりやすいという点がありました。

加えて、帝国書院は技能をみかくコーナーや、各写真、資料活用の問いを通して、生徒自身が習得した技能を日頃から磨いていけるように工夫がされていて、技能習得についても充実していると共感しました。ですから私は、帝国書院を薦めます。

児玉典彦（教育長）

はい、吉村委員。

吉村邦彦（教育委員）

私は、東京書籍が最もふさわしいと思います。理由ですけれども、私なりの感覚も含めてなのですが、写真とかアニメを非常に多く活用し、生徒が興味をひく内容になっているのではないかなというふうに思います。やはり、公民というのは、生徒たちからすると、なかなかとっつきにくい科目でもあると思います。そういったわかりやすいとか写真、アニメを活用しているというのは、非常に大事なことではないかなというふうに感じます。あと、覚えるべき項目が太字で表示されており、それが最小限にとどめられて、覚えるべき言葉を絞り込んでいるので、生徒たちが何を覚えるべきなのか、集中して覚えるべきことが何なのか、ということがわかりやすい構成になっていると思いました。以上です。

児玉典彦（教育長）

はい、ただ今の意見はとても面白い観点で、重要語句が絞られているということが出ましたが、確かに重要語句があればあるほど、覚えないと、という観念ばかりにとらわれて、教科書を読むのが嫌になる生徒もいるかもしれません。小田委員、いかがでしょうか。

小田耕一（教育長職務代理者）

私は、公民の教科書は資料活用を高めるという観点から、資料はどうだろうかという視点で見させていただきました。調査員の報告の中にも、帝国書院の教科書に、資料活用能力を高める工夫がされていると報告がありました。私もまさに、そのように思っています。帝国書院の資料がとても充実しているのではないかと思います。

資料という点でいえば、面白い資料だなと思ったのが、育鵬社の資料も新しいとか、目を引くとかというような点では面白いと思います。ただ、教科書としては、帝国書院の教科書が良いのではないかと思います。

児玉典彦（教育長）

はい、それでは、帝国書院と東京書籍の2社に絞って協議をしようと思いますが、よろしいですか。

（はい）

児玉典彦（教育長）

はい、では藤井委員。

藤井悦子（教育委員）

私はやはり帝国書院を薦めたいと思います。見ていただくとわかるのですが、見開きのイラストがとてもきれいで、両方に見開きがあるというので、ぱっと開いた時に、すごくわくわくするのではないかなと思っています。公民というちょっととっつきにくい教科なのですが、やはり子供たちが楽しんで勉強していただきたいと思っておりますので、私は帝国書院を薦めたいと思います。

児玉典彦（教育長）

はい、佐々木委員。

佐々木猛（教育委員）

私は逆で、東京書籍の方が写真とかイラストが、強いインパクトで入ってきた感じがしました。私の感覚ではございますが、教科書を開いた時に、取り組みやすかった、入りやすかったというのがありました。

児玉典彦（教育長）

写真・イラスト資料の面で、双方の良さが意見として出されましたが、他の委員の皆さんはどうでしょうか。はい、小田委員。

小田耕一（教育長職務代理者）

私は、先程、資料活用能力を高めるという点で帝国書院を推しましたが、今、イラストや資料の美しさといった皆さんのご意見を聞いて、印象で言えば、東京書籍も魅力的であるというように思い直しました。東京書籍も魅力的であるというように思います。

児玉典彦（教育長）

はい、教科書にはそれぞれ違う魅力があります。そして、小田委員は東京書籍も魅力があり、これを推すということです。はい、吉村委員どうですか。

吉村邦彦（教育委員）

私も、東京書籍が良いと思います。

児玉典彦（教育長）

それでは、公民の教科書は東京書籍という意見が多いようですが、よろしいですか。

（はい）

児玉典彦（教育長）

それでは、公民は東京書籍に決定します。社会科は、さまざまな分野があり、それぞれの種目で違った教科書を採択することでバランスが取れて良いのではないかと思います。

続いて、地図です。地図は2社で、東京書籍と帝国書院となっています。いかがでしょうか。はい、藤井委員。

藤井悦子（教育委員）

地図に関しては、帝国書院を私は推薦したいと思います。縦長で大きく見やすい印象です。大判化されたことで、資料や説明が余裕をもって、より見やすくなったという点を評価いたしました。

児玉典彦（教育長）

はい、吉村委員。

吉村邦彦（教育委員）

私も帝国書院が良いと思います。デジタルコンテンツなども非常に充実していて、資料説明が余裕をもって配置されていると感じました。そういった点を考えた時に、生徒にとって、非常にわかりやすいのではないかと思いますので、帝国書院が一番良いというふうに思います。以上です。

児玉典彦（教育長）

帝国書院という意見がお二人から出ましたが、他の委員さん、異論はございませんか。

（ありません）

児玉典彦（教育長）

それでは、地図は帝国書院に決定します。

次に、数学です。これまでの研究調査を踏まえ、数学において、下関市の子供たちにとって、もっともふさわしい教科用図書はどれだと思われますか。その理由を併せてご発言いただきたいと思います。はい、吉村委員。

吉村邦彦（教育委員）

数学に関しましては、私は日本文教出版と啓林館がふさわしいと思います。

私自身、全ての教科書の連立方程式のページで勉強してみました。その中で、私としては日本文教出版がいちばんわかりやすく、「連立方程式ってこうなんだ」ということが理解できた教科書でした。啓林館と多少甲乙付けがたい気はするのですが、やはり日本文教出版が優れていると思いました。以上です。

児玉典彦（教育長）

ただ今、吉村委員から、日本文教出版と啓林館が甲乙付けがたいという意見がありましたので、この2社について協議をしようと思いたしますがよろしいでしょうか。

（はい）

児玉典彦（教育委員）

それでは、この2社についてご意見をお願いします。はい、佐々木委員、どうぞ。

佐々木猛（教育委員）

啓林館の方は、デジタルコンテンツの量が多かったもので、子供たちの見やすい資料にもなって、これを使うことによって、生徒の学びが広がるのではないかとというふうに、私は感じました。

児玉典彦（教育委員）

小田委員、どうでしょう。

小田耕一（教育長職務代理者）

私は、結論を言えば啓林館を推したいと思います。理由は、三つあります。一つはページを開いた時に見た感じが、ページ全体に余白を感じて、見るべきところははっきりと、コントラストというのか、見やすさという点で啓林館が良いと思いました。

また、二つ目は章ごとにページのつくりや流れが、だいたい一定になっているということも、どの章を学ぶにしても、こういう順序で勉強を進めていくというわかりやすさが、生徒に見通し

をもたせるという意味でも良いのではないかと思います。

三つ目に、いずれの教科書も良いのですが、小学校との接続という意味で、啓林館の教科書が良いのではないかと考えてみました。

児玉典彦（教育長）

小中連携も含めて、学びの連続性ということで、啓林館ではどうかという意見が出ました。皆さんいかがでしょうか。はい、藤井委員。

藤井悦子（教育委員）

私も啓林館が良いと思いました。やはり教科書を開いた時に、空白・余白もあり、文字のバランスがとても良かったと思います。見やすさに加えて使いやすさという点でも、また、なじみの良さという点でも、私は、下関市では、啓林館が良いのではないかなと思います。

児玉典彦（教育長）

啓林館を推す意見が多いようですが、吉村委員、どうでしょう。数学については、啓林館でよろしいですか。

吉村邦彦（教育委員）

はい。

児玉典彦（教育長）

啓林館について、皆さんが納得したようですので、数学については啓林館で決定したいと思います。

続いて、理科です。これまでの研究調査を踏まえ、理科において、下関市の子供たちにとって、もっともふさわしい教科用図書はどれだと思われますか。その理由を併せてご発言いただきたいと思います。はい、佐々木委員。

佐々木猛（教育委員）

私は理科について、全ての教科書を見させていただきましたが、その中で、啓林館がふさわしいと思います。理由は、写真やイラストを多用して非常にわかりやすかった点、そして、振り返りのページも多くて、学習をスムーズに理解することができたという点です。あと、デジタルコンテンツが充実していて、実験などの動画がいちばん多かったのが、啓林館だったと思います。

ただ、ちょっと1点だけ気になったのが、啓林館以外の教科書、東京書籍、大日本図書、学校図書、教育出版は、単元がだいたい似かよっていましたが、啓林館だけがちょっと他と単元が違っていたんですが、それは先生や生徒が学習を進めるにあたって、特に問題はないのかなというのが気になりました。

児玉典彦（教育長）

単元が違っている、ということですが、もう少し詳しくお願いします。

佐々木猛（教育委員）

はい、大きく1、2、3、4と分けてみると、多くの教科書は「物質、生物、気象、電気」という構成になっており、啓林館だけが、「生物、気象、物質、電気」という構成で、それを見たときに、1社だけ違和感を覚えました。この辺りはどうなのか、授業におけるカリキュラム的なもので問題はないのかということが気になりました。

児玉典彦（教育委員）

はい、ありがとうございます。現行は啓林館であります。問題は生じていないのでしょうか。はい、小田委員。

小田耕一（教育長職務代理者）

この前の協議会の中では、調査員の先生が専門的な言い方で、教科書の内容が「物・化・生・地」「物理、化学、生物、地学」で並べられているけれども、教員の判断で、このページから、次はこのページにいくという方法で、特に教科書の配列についての問題はなく授業はできる、というような報告はあったと思います。

児玉典彦（教育委員）

年間指導計画はそれぞれの学校で作成しますので、単元構成については、あまり気にしなくても良いのではないかと思います。他に意見はありませんか。はい、藤井委員。

藤井悦子（教育委員）

私も、啓林館を薦めたいと思います。

観察・実験など、具体的な問題解決の活動がいちばん多かったのが、啓林館でした。また、レイアウトをそろえているので、写真サイズや行間、写真は上の部分で本文は下の部分と、大変見やすいつくりをしています。色使いもきれいで、楽しみながら勉強ができる工夫は、啓林館が優れていると思います。

東京書籍は、縦長になったため、見やすいかと思ったのですが、やはりその大きさに慣れていないせいか、やや大きすぎるというのを感じました。

児玉典彦（教育長）

はい、吉村委員。

吉村邦彦（教育委員）

私も啓林館と大日本図書というように思いました。双方とも、下関市を題材にしたページがありまして、例えば大日本図書であれば「角島灯台」、啓林館なら「下関で採掘された岩石」でした。

そういう形で、下関市を題材にするのは、やはり地元ということで、非常に大事なことだなというように感じます。そこで、大日本図書もふさわしいのではないかと思います。

児玉典彦（教育長）

大日本図書の良さもありますが、啓林館を推す意見が多いようです。吉村委員、啓林館でもよろしいですか。

吉村邦彦（教育委員）

はい、結構です。

児玉典彦（教育長）

では、皆さん、理科については、啓林館でよろしいですか。

（はい）

児玉典彦（教育長）

それでは、理科は啓林館に決定します。

9番目、音楽一般。これまでの研究調査を踏まえ、音楽一般において、下関市の子供たちにとって、もっともふさわしい教科用図書はどれだと思われますか。音楽一般は2社で、教育出版と教育芸術社となっています。いかがでしょうか。はい、吉村委員。

吉村邦彦（教育委員）

双方ともに非常に素晴らしいと思いますが、私は教育芸術社が子供たちのために優れていると

思いました。

教育芸術社の方は、音楽と楽器の合致、楽譜だけでなく、歌・楽器に関しても、もちろん歴史的に重要な楽器も押さえつつ、カホンやエレキギターといった新しい楽器についても掲載されている内容でした。やはり、生徒たちが興味をそられるような内容になっているというふうに思いましたので、教育芸術社の方が優れているというように思います。以上です。

児玉典彦（教育長）

ただいま、吉村委員から教育芸術社を推す意見が出されましたが、他の委員の皆さんは、いかがですか。はい、藤井委員。

藤井悦子（教育委員）

私も、教育芸術社がふさわしいと思いました。巻頭ページに、中学生へのメッセージとして、身近な著名人のメッセージを多く取り上げ、自身の課題について語っていく点などは、これから学びに向かう力になるのではないかと思います。

また、表現という項目の中の歌唱を多く取り上げているという点は、歌を通して心を育てる教育、道徳教育や人権教育との関連を図ることができるのではないかと思います。そこで、私は教育芸術社を薦めたいと思います。

児玉典彦（教育長）

ありがとうございました。他の委員の方、異論はございませんか。

（ありません）

児玉典彦（教育長）

それでは、音楽一般については、教育芸術社に決定します。

10番目、器楽合奏です。器楽合奏について協議を行いますが、器楽も2社であり、教育出版と教育芸術社となっています。いかがでしょうか。はい、佐々木委員。

佐々木猛（教育委員）

教育芸術社、教育出版とも、同じような配列・作り方をされていて、とても素晴らしいと思いました。私は、その中でも特にウェブコンテンツが多かったのが教育出版でしたので、教育出版の方が良いかなというように思います。

児玉典彦（教育長）

他の委員の方々はいかがでしょう。はい、藤井委員。

藤井悦子（教育委員）

私も、佐々木委員さんと同じで教育出版が良いと思います。楽器の構えや奏法がイラストや写真でわかりやすく、教育芸術社より大きく描かれていたので良いと思いました。

また、親しみやすい楽曲が取り上げられていたのも、生徒の興味・関心を引き出し、主体的な表現活動に取り組むことができるのではないかとこの点を評価いたしました。

児玉典彦（教育委員）

はい、次に小田委員。

小田耕一（教育長職務代理者）

自分の見え方が違うのかとも思いますけれど、私は教育芸術社の方が、写真や資料の見えやすさという点では良いと思いました。それと、新しい時代に必要となる資質・能力の育成という教育目標に沿った内容で、海外のこととか伝統的なことといった表現が、教育芸術社の方が良いよ

うに思いました。

児玉典彦（教育長）

はい、吉村委員どうでしょう。

吉村邦彦（教育委員）

私も教育芸術社の方が良いと思いました。音楽一般とリンクする楽器、それから楽譜が掲載されており、上手に説明されているということがあります。

それと、先ほど小田委員からもありましたけれども、古典楽器から現代楽器まで幅広く網羅されておりまして、新しい時代に必要な資質・能力の育成につながっているのではないかと思います。古典的な楽器の紹介も当然必要なのですけれども、耳慣れた新しいというか最新の楽器も必要だと思います。今からの下関の子供たちに、新しいものに触れさせるというのも非常に大切だと思います。以上です。

児玉典彦（教育長）

今、教育出版と教育芸術社で意見が分かれています。お互いの意見を聞かれてみて、いかがですか。はい、佐々木委員。

佐々木猛（教育委員）

先ほどもお話させてもらったように、どちらもやっぱり似ている部分が多く、どちらも素晴らしい教科書だなというふうに思いました。ただ、私がどうしても、どうなのかなと思って見たときに、これからタブレット配付等が進んでいく時に、QRコード・デジタルコンテンツというところが、これからどんどん子供たちが興味を持っていくところなのかなと思います。動画がたくさん載っている。そこから入っていけると思ったところで、教育出版というお話をさせていただきました。

児玉典彦（教育長）

はい、藤井委員、いかがですか。

藤井悦子（教育委員）

はい、やはりどちらも素晴らしいと思いますが、私も色々とお話を聞きまして、教育芸術社の方も良いかなと思っております。

児玉典彦（教育長）

はい、どちらの教科書も完成度が高く、甲乙付けがたいということですが、音楽一般とのつながりを考えて、器楽については、教育芸術社でよろしいでしょうか。

（はい）

児玉典彦（教育長）

それでは、器楽合奏は、教育芸術社に決定します。

1 1 番美術です。これまでの研究調査を踏まえ、美術の協議に入ります。美術は、開隆堂出版、光村図書、日本文教出版の3社ですが、下関市の子供たちにもっともふさわしい教科用図書はどれだと思われますか。美術に造詣の深い藤井委員、いかがですか。

藤井悦子（教育委員）

どの発行者の内容も素晴らしかったのですが、大変甲乙付けがたいのですが、まず、良いところを見ますと、開隆堂出版のよさは、作家や作品、鑑賞・活動中心の題材が多く掲載されている点です。



また、日本文教出版は、表紙の美しさ、生徒作品の掲載が多い点や、また美術で学んだことが将来、人生・社会に役立つような例示をされているので、将来的なことを見据えた点がいいなど思っております。これが、本当になかなか甲乙付けがたいので、皆さんの意見を伺いたいと思います。

児玉典彦（教育長）

今、藤井委員から開隆堂出版と日本文教出版とが素晴らしく、協議をしたらどうかという意見でしたが、いかがですか。はい、吉村委員。

吉村邦彦（教育委員）

はい。2社を比べると、日本文教出版が私は良いと思います。先生方の立場から見た授業や学習のしやすさを考えた場合、日本文教出版がポイントをしっかり押さえている印象でした。

また、教科書が軽いというのも非常に重要な要素の一つと思いました。その点でいうと、薄くてコンパクトでありながら、全ての内容はきちんと網羅されて充実しているのもやはり非常に素晴らしいと思いました。以上です。

児玉典彦（教育長）

今、お二人の委員から意見が出されましたが、どうでしょうか。開隆堂出版の方を推すご意見はありますか。はい、小田委員。

小田耕一（教育長職務代理者）

実は、私は写真の印象、とりわけ美術作品が、それ自体のもつ美術品としての感じが、開隆堂出版の方が良いかなと思っていたのですが、調査員の先生方の報告を聞いたときに、ダイナミックな表現があったり、見開きページで子供たちを惹きつけたりする魅力という点で、日本文教出版が優れているという報告がありました。私もそれで、見直したという感じです。

調査員の意見からも日本文教出版を推したいと改めて思いました。

児玉典彦（教育長）

それでは、今までのところ日本文教出版を推す意見が多かったので、日本文教出版でよろしいですか。

（はい）

児玉典彦（教育長）

それでは、美術は日本文教出版に決定します。

12番、保健体育です。これまでの研究調査を踏まえ、保健体育において、下関市の子供たちにとって、もっともふさわしい教科用図書はどれだと思われますか。その理由を併せてご発言いただきたいと思います。はい、小田委員。

小田耕一（教育長職務代理者）

はい。私は、大日本図書と大修館書店の2社で検討をしたらどうかと思います。

大日本図書は、見開きページで1時間の授業構成となっており、更に左ページが本文、資料や図表が右ページに配置されているというのが、各章で続いており、生徒が見通しをもって勉強を進めやすいというふうに感じました。そして資料が多くて、自分の生活とのかかわりの中で保健体育を考えていけるという点で優れていると思います。

大修館書店は、キーワード・重要語句が教科書のページで強調されており、大事な言葉として理解を進めるという点で優れていると感じました。私は、どちらかと言えば大日本図書を推したいと考えています。

児玉典彦（教育長）

はい、今、小田委員からどちらかと言えば、大日本図書を推すが、大日本図書と大修館書店の2社で協議を進めたらどうかという意見が出ました。どうでしょう。他の委員の皆さん。はい、吉村委員。

吉村邦彦（教育委員）

私もこの2社が特に素晴らしいと思いました。その中でも、大日本図書の方が最も下関の中学生にふさわしいというふうに感じました。なぜかと言いますと、中学生の心と体の変化のところの「喫煙と薬物」の項目を比較しました。非常に写真等でわかりやすく丁寧で、私の高校生の息子に伝えるとしたら大日本図書のページに書いてあるような内容を伝えるとわかりやすいのではないかと感じたからです。以上です。

児玉典彦（教育長）

ほかにご意見はありますか。はい、藤井委員。

藤井悦子（教育委員）

私も大日本図書と大修館書店を薦めたいと思います。

大切な言葉が太い文字でわかりやすく、4つあった中でいちばん見やすかったのが大日本図書でした。デジタルコンテンツも豊富で、深い学びにつながるのも良いかと思えます。

大修館書店の方は、章全体が3段階で構成されており、まとめて理解が深められるように工夫されている点を評価しました。でも、どちらかというところ、大日本図書の方が見やすさ、勉強しやすさの点で、良いかなと思っております。

児玉典彦（教育長）

大日本図書を推す意見が多いようです。どうでしょう、佐々木委員、保健体育は、大日本図書でよろしいでしょうか。

佐々木猛（教育委員）

はい。

児玉典彦（教育長）

はい、では、保健体育は大日本図書に決定します。

（はい）

児玉典彦（教育長）

ハードな時間が続いているようですが、このまま続けていいですか。

（はい）

児玉典彦（教育長）

13番、技術です。これまでの研究調査を踏まえ、技術において、下関市の子供たちにとって、もっともふさわしい教科用図書はどれだと思われませんか。その理由を併せてご発言いただきたいと思えます。はい、佐々木委員。

佐々木猛（教育委員）

私は、開隆堂出版が素晴らしいと思いました。理由なのですが、一つひとつの項目ごとに、「話し合ってみよう」「調べてみよう」「考えてみよう」などが冒頭に記されていて、授業に入れるようになっていました。それによって、生徒が学習しやすいレイアウト、配列がなされていたの

で開隆堂出版が良いなと思います。

児玉典彦（教育長）

はい、ただ今、開隆堂出版と意見が出されましたが、他の教科書を推す意見はございますか。はい、吉村委員。

吉村邦彦（教育委員）

私は、開隆堂出版と東京書籍で考えてみました。結果、東京書籍という結論になっています。

それは、現代社会で必要なことで、問題発見から問題解決という内容になっているように思います。問題を発見していく中で、それをどうやって解決していくかという教科書の構成になっていて、非常に今に合っているのではないかというように思いました。

あとは、調査員の報告の中で、技術を専門としない教員が教えやすい構成になっているとありました。これからの技術はものをつくる技術だけではない教科となっていくので、専門としない先生が教えやすいという視点で考えることも、もしかしたら必要なのかなと思いました。以上です。

児玉典彦（教育長）

はい、藤井委員。

藤井悦子（教育委員）

どちらの教科書も生徒の興味・関心・意欲を高めながら、問題解決的な学習を無理なく展開できると思いますが、比べてみると、開隆堂出版は、「導入・基礎学習・展開・まとめ」、東京書籍は「導入・展開・まとめ」で構成されています。開隆堂出版の中の基礎学習は、とても大事な項目だと思しますので、やはり開隆堂出版の方がより深い学びにつながると思っております。私は、開隆堂出版の方を薦めたいと思います。

児玉典彦（教育長）

はい。小田委員はどう思われますか。

小田耕一（教育長職務代理者）

あわせて、調査員の先生方の報告の中で、開隆堂出版はQRコードがそのページにあって使いやすく充実しているということでありました。デジタルコンテンツの使用は、技術の授業の中でも情報を扱うということで、とても重要になると思います。そのあたりが充実しているということは重要なポイントになると思います。

また、単元名とめあてがきちんと教科書の紙面に記載されてあるところが、どの章も決まった位置に配置してあって、めあてをはっきりとさせて授業に臨むという今の授業スタイルの中でとてもマッチする教科書ではないかというように感じました。レイアウトや資料の目立たせ方も開隆堂出版が私は良いと思います。

児玉典彦（教育長）

開隆堂出版を推す意見が多いようですが、技術については、開隆堂出版でよろしいですか。

（はい）

児玉典彦（教育長）

それでは、技術は開隆堂出版に決定します。

14番、家庭科です。これまでの研究調査を踏まえて、家庭において、下関市の子供たちにとってもっともふさわしい教科用図書はどれだと思われますか。その理由を併せてご発言いただきたいと思います。はい、藤井委員。

藤井悦子（教育委員）

私は東京書籍が良いと思います。学習内容や実習が基礎・基本から応用・発展と段階を踏んでいて、実習の内容が横並びで見やすくしている点を評価いたしました。

また、昨今重要性が増している防災教育について、家庭科ならではの生活に根差した視点で扱われており、付録で防災減災手帳が付随しているのも優れている点だと思います。

教育図書の良いところは、「やってみようコーナー」や「学びを生かそうコーナー」でこれは生活をよりよく向上させるために良いことだと思います。また、消費生活についての項目を扱っている点は、子供たちにとって先のことのようにも、大切なことなので、これを扱っている点では教育図書を評価します。

あと、開隆堂出版は見通しをもった学習方法、対話を通しての知識・技能を身に付けるようになっていきます。これらの色々と良い点はあるのですが、その中でも、やはり見やすさや使いやすさという点では、私は東京書籍が良いのではないかと考えております。

児玉典彦（教育長）

はい、藤井委員からは、東京書籍が優れているが、教育図書も開隆堂出版も捨てがたいというご意見です。他の委員の皆さん、どうですか。はい、小田委員。

小田耕一（教育長職務代理者）

私は東京書籍が良いと思いました。一つはキーワードが強調されていて、授業で勉強したことをキーワードで説明できるようにすることをねらうのであれば、教科書の中にきちんとそのキーワードが強調して記載してあるのは大事なのかなと感じます。下関市の中学校、小学校もそうですけれども、授業スタイルとして、授業が終わった後の「振り返り」今日勉強したことは何だったのかという「振り返り」という授業スタイルの中で、キーワードをもう一度、授業の終わりに見直してみる、その時に教科書をもう一度見れば強調してあるという、そういうスタイルにも合うのではないかなと思います。また、イラストも東京書籍がとても良いなというように思いました。

児玉典彦（教育長）

東京書籍を推す意見でした。どうでしょう。吉村委員、佐々木委員、東京書籍でいいですか。

（はい）

児玉典彦（教育長）

それでは、家庭は東京書籍で決定します。

15番、英語です。これまでの研究調査を踏まえ、英語において、下関市の子供たちにもっともふさわしい教科用図書はどれだと思われますか。その理由を併せてご発言いただきたいと思います。はい、吉村委員。

吉村邦彦（教育委員）

英語に関しましては、下関市の子供たちにとってふさわしい教科書は、東京書籍と三省堂が優れていると考えました。理由といたしましては、どの教科書も非常に優れていたのですが、この2社に関しては、基礎・基本を徹底的に教えるという内容になっていると思います。

そして、私自身は東京書籍が優れていると思いますが、現状の教科書が東京書籍であり、2年生や3年生、特に受験生が、いきなり教科書が変わるといのもどうなのだろうかと思います。問題はないのかもしれませんが、教科書が変わると、受験対応の難易度が高くなるのではないかという印象をもちました。

できれば東京書籍が良いのですが、三省堂も非常にいいところを突き詰めているので、この2社で議論していただきたいというふうに思っています。以上です。

児玉典彦（教育長）

今、東京書籍と三省堂で絞って協議をするという意見でしたが、よろしいでしょうか。

（はい）

児玉典彦（教育長）

それでは、ご意見をお願いします。はい、藤井委員。

藤井悦子（教育委員）

私は東京書籍の方が良いと思います。A B版からA 4サイズになっている点が評価したところ  
です。少し大きくなっているということで、視覚資料が豊富になっています。また、QRコード  
の数がいちばん多いということもあり、家庭でも音声を活用して学習できるという点を評価いた  
しました。

児玉典彦（教育長）

はい、佐々木委員。

佐々木猛（教育委員）

私も東京書籍が良いと思いました。レイアウト構成ですが、見開きを使っているのが、東京書  
籍、光村図書、啓林館の3社でした。その中でも、私は東京書籍が良いということで薦めます。

東京書籍の中で特に良いなと思ったのが、調査員の先生方の報告にもありましたが、can-do リ  
スト、振り返りリストによって1学年からの振り返り、2学年末までの目標の達成状況の確認、  
3学年末までの目標という形でしっかりと目標が書かれていました。下関市の子供たちにも目標  
をたてて学習していきやすいのかなというように思いました。

児玉典彦（教育長）

はい、ありがとうございます。はい、小田委員。

小田耕一（教育長職務代理者）

私も東京書籍を推したいと思います。小学校で教科化された英語との連携というか、小学校か  
らの勉強を中学校でもう一度扱いながら積み重ねていくということが、教科書の作りの説明の中  
にもあって、そこに力を入れていることを評価しました。

まず、英語を好きになるというか、英語を嫌いにさせない。これからも英語をがんばっていこ  
うみたいな気持ちで中学校の英語の授業に臨めるようにするというのがとても大切だと思ってい  
ます。

それから、東京書籍の教科書の方には、各章ごとにゴールが2つ設定してあって、一つは英語  
の題材で外国の文化などを学ぶ、題材から学ぶというゴールと、それからもう一つは、読む聞く  
書く話すといった4つの技能を活動を通して学ぶ、つまり技能を学ぶということがあがっていま  
す。海外の文化を学んで興味・関心を持たせるというのが、ひょっとしたら技能以上に英語科と  
いう教科が持つ、大事な目標になってくるのではないかなというふうに思います。その辺りの重  
点の置き方が東京書籍が良いところかなと思います。

児玉典彦（教育長）

はい、三省堂も優れているが、東京書籍を推す意見が多いようです。英語については、東京書  
籍でよろしいですか。

（はい）

児玉典彦（教育長）

それでは、英語は東京書籍に決定します。

次に、道徳ですが、これからの進行は、教育長職務代理者の小田委員をお願いします。

(教育長退室)

小田耕一（教育長職務代理者）

それでは、これまでの研究調査を踏まえ、道徳において、下関市の子供たちにとって、もっともふさわしい教科用図書はどれだと思われますか。その理由を併せてご発言いただきたいと思います。はい、吉村委員。

吉村邦彦（教育委員）

道徳において下関市の子供たちに最もふさわしい教科書は、東京書籍と日本文教出版、私はこの2社に絞りました。他の意見があれば、また協議いただきたいと思います。

私は中でも、東京書籍の方が非常に優れていると思いました。なぜかといいますと、図それから絵が非常に多彩に盛り込まれていまして、非常にわかりやすいなと思いました。ページをめくるときに、右端にこのページは何をテーマにしているのかが明確に記載されている点、生徒が授業のスタートラインでわかりやすいのではないかなと思いました。以上です。

小田耕一（教育長職務代理者）

はい、ありがとうございます。吉村委員から東京書籍と日本文教出版に絞ったらどうかご提案がありました。他の教科書の推薦はないですか。この2社に絞ってよろしいでしょうか。

(はい)

小田耕一（教育長職務代理者）

それでは、東京書籍と日本文教出版に絞って、ご意見ををお願いします。はい、佐々木委員。

佐々木猛（教育委員）

私は、東京書籍と日本文教出版で考えたときに、日本文教出版がふさわしいのかなというように思いました。

どの教科書も非常に考えさせる内容になっていましたが、日本文教出版には「プラットホーム」というところで、取組について考えることができるコーナーが設けられていました。そこでまた深く学ぶことができるように構成されてあります。子供たちは、みんなで話し合うことができ、アクティブ・ラーニングにつながるのではないかなというように思いました。

小田耕一（教育長職務代理者）

はい、ありがとうございます。はい、どうぞ、藤井委員。

藤井悦子（教育委員）

私は、東京書籍と日本文教出版を比べた時に、東京書籍の良いところを言えば、教材ごとに本文の後に「考えよう」・「自分を見つめよう」の問いかけが掲載されていて、命の尊さやいじめ問題それについて段階的に考えることができるというところです。

また、日本文教出版は、道徳ノートの活用ということで、やはり先生方が利用しやすいのではないかなという点を評価しました。特に内容では、友情や信頼の教材に力を入れているということがわかりましたので、私はぜひ下関市の子供たちにはこちらの日本文教出版を薦めたいと思います。

小田耕一（教育長職務代理者）

はい、ありがとうございます。それぞれの意見で、東京書籍も日本文教出版も意見が出ていますが、吉村委員さん、いかがでしょうか。

吉村邦彦（教育委員）

はい。私が日本文教出版で良いと思うのは、自己肯定感というのをいちばん表現している部分だというふうに思っています。それから、写真や絵は、非常に甲乙つけがたいですが、東京書籍で良かったのは、先ほどお話ししました見開きで、その右側のページに何のテーマなのかが端的に書いてあって、「いじめだったらこのページを見るんだ」ということが生徒たちにわかりやすい構成になっているというように感じました。中身でいうと甲乙つけがたいと思いましたので、皆さんのご意見が多ければ日本文教出版で、私も良いと思います。

小田耕一（教育長職務代理者）

はい、ありがとうございます。先程、「道徳ノート」の取り扱いについてありましたが、そのあたりで何かご意見はないでしょうか。はい、佐々木委員。

佐々木猛（教育委員）

「道徳ノート」でございますが、子供たちの使い方によって、いろいろ活用が広がっていくのではないかなというふうに思いました。学び、学習するうえで、一つひとつの考え方の材料、ヒントにはなるのではないかなと思います。

小田耕一（教育長職務代理者）

ありがとうございます。先日の、調査員の先生方の報告でも、「道徳ノート」が改良されていて、ワークシートを貼るなどしてポートフォリオとして、学習の経過や自分の成長を見るために活用できるという表現があったかと思います。

東京書籍、日本文教出版、両方に良い点がありますが、日本文教出版の方がどちらかというところと薦める意見が出ている気がしますが、日本文教出版でよろしいでしょうか。

（はい）

小田耕一（教育長職務代理者）

それでは、道徳は 日本文教出版に決定したいと思います。

（教育長、入室）

児玉典彦（教育長）

では、以上ですべての種目について、来年度から下関市の中学生が使用する教科用図書が決まりました。これらの教科書を用いて、生徒が意欲的に学習に臨み、確かな学力をはじめとする「生きる力」を身に付け、「学びが好きな子ども」へと成長していくことを心から願っています。

委員の皆様をはじめ、研究調査協議会や研究調査員会の委員の皆様のごこれまでのご苦労とご協力に感謝を申し上げます。本当にありがとうございました。

なお、教科書採択につきましては、冒頭に申し上げたとおり、8月31日まで非公開となっておりますので、教育委員の皆様をはじめ、今日の会議に参加された皆様には、情報管理につきまして、ご留意の程、よろしく願いいたします。

以上で、議案第45号の審議を終わります。

《非公開部分終わり》

【閉会の宣告】

児玉典彦（教育長）

それでは、本日の教育委員会定例会を終了したいと思います。皆さんお疲れ様でした。

（お疲れ様でした）

署名

教 育 長

---

署名委員

---

署名委員

---

作成職員

---